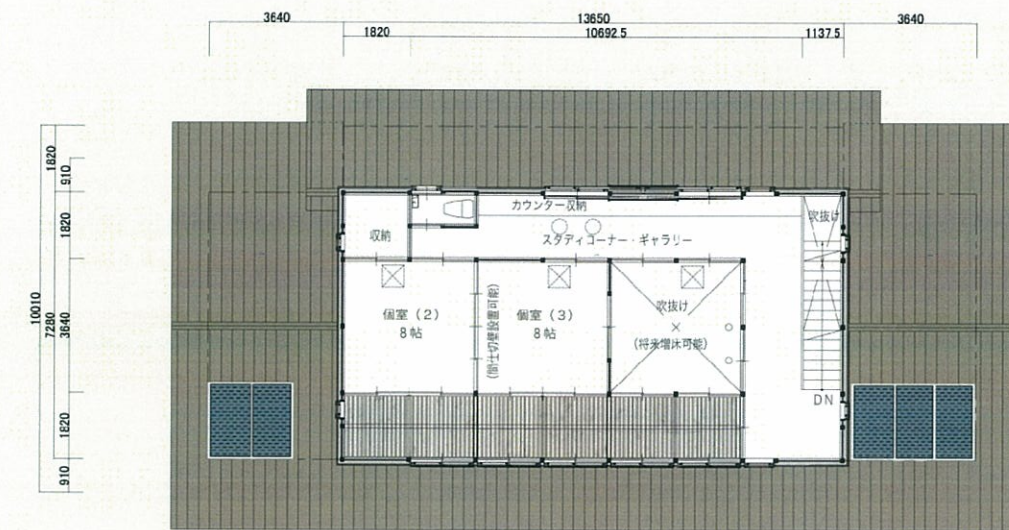
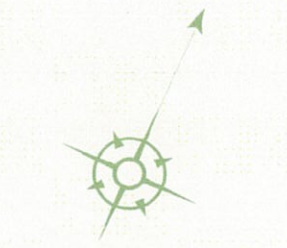
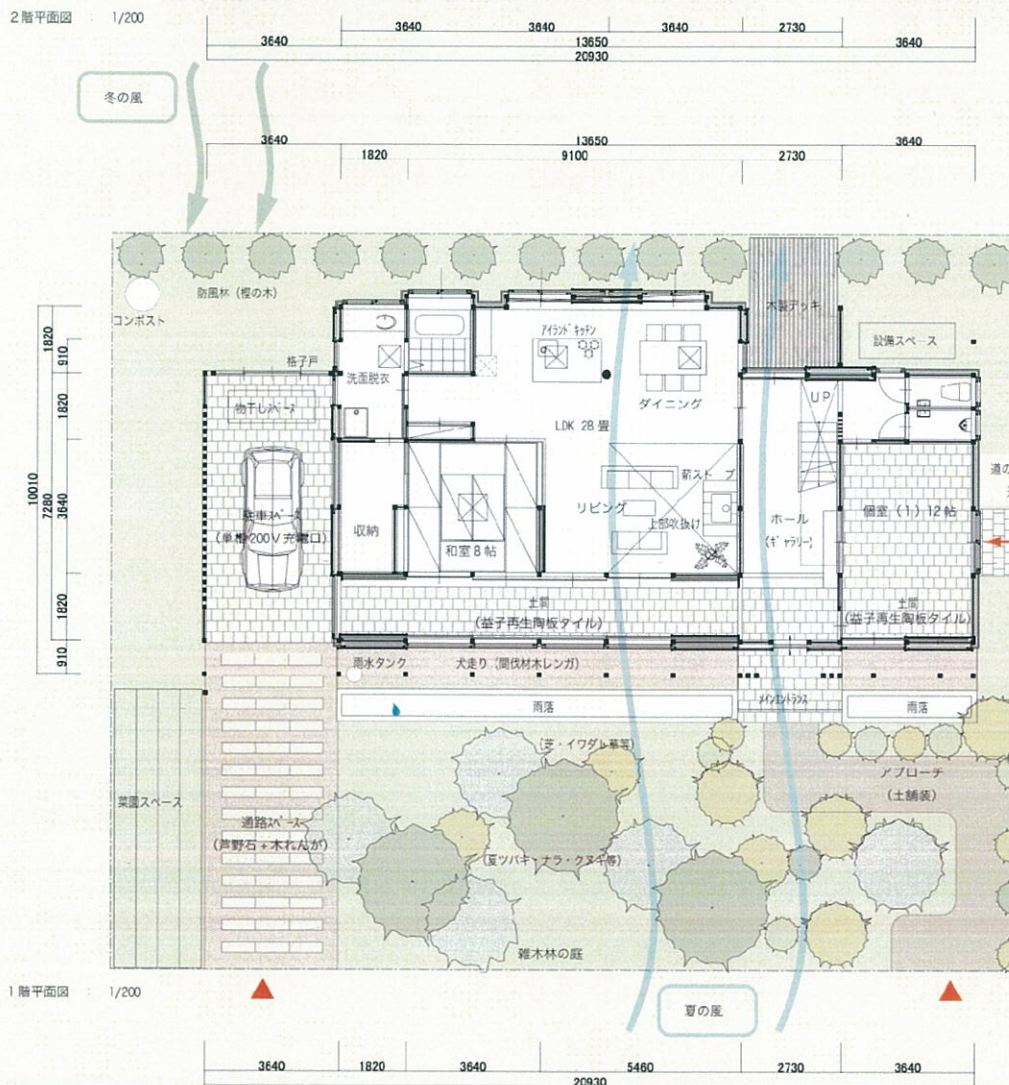


道の駅やいたエコハウス



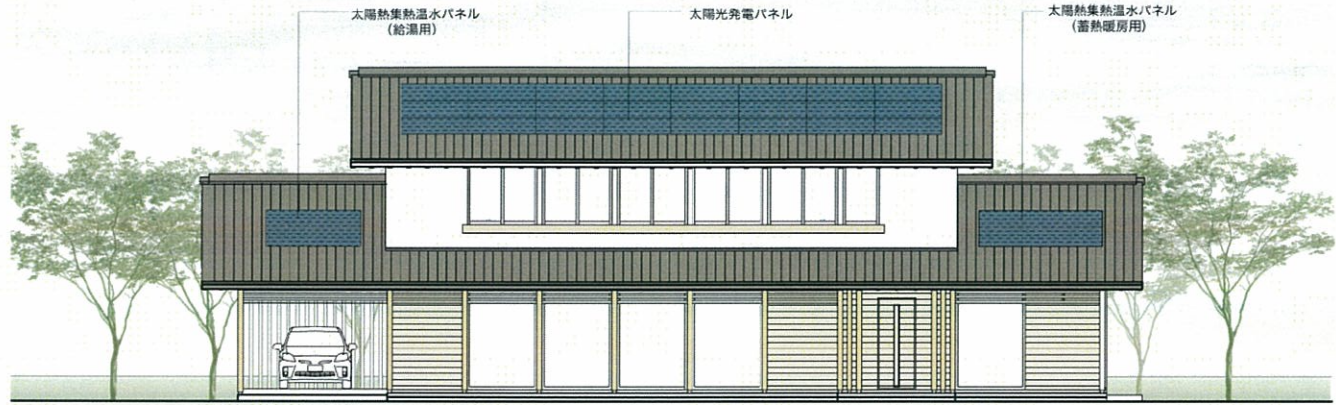
- 主要な仕上げ
 屋根：瓦葺
 外壁：杉板張り・漆喰壁
- 内部仕上げ
 床：杉板張り
 土間：益子再生陶板タイル
 壁：杉板落とし込み現し
 漆喰壁
 天井：杉板張り



床面積	1 F 179.39 m ²
	2 F 81.15 m ²
延べ面積	260.55 m ²
建築面積	196.32 m ²

平面について

住宅を含む敷地全体がエコライフスタイルの為の環境と考え、建物と周囲の庭が視覚及び動線的に融合した計画としました。建物の南及び東西面の内側に、タイル敷きの土間空間を設け、開放性と太陽エネルギーの直接的な享受ができるかたちとしました。また、北面は、南北に流れる風の道の為の開口部を設け、自然エネルギーが建物の中へスムーズに流れ込む計画としました。生活の中心となる1階の居間、食堂、台所、和室スペースは、開放的なワンルームのかたちとしました。明快なゾーン分けと、柔軟性に富んだ間仕切りとしての建具の設置により、多様なライフスタイルにマッチした環境をつくりました。2階と一体となる吹抜けや、スノコ床。そして、ゆったりとした階段の設定により、建物全体に熱エネルギーや風がスムーズに流れ、人の動きも見渡せるつくりとしました。



立面について

外観は、瓦葺き切妻屋根が2層に連なり、南面の開放性を高める大きな開口部が連続するかたちとしました。特に列柱が並ぶ南の軒下は、光と熱と風を有効利用するフィルター的空間として計画しました。自然エネルギーと素材を有効活用したつくりとしました。1階の外壁は木製、2階の外壁はしっくい壁とし、耐候性と地域性を考慮した仕上げとしました。また、西日対策として南面にすだれを。西面に間伐材の柱材を使用した格子の設置を行い、光のフィルターとしての機能をもたせました。アクティブソーラーとして、太陽光発電パネルを2階屋根に。太陽熱集熱温水パネルを1階屋根面に設けます。